

2023 年度日本農学会シンポジウムプログラム

統一テーマ：「激動する社会と農学」

主な対象：一般、学生・大学院生、若手研究者

日時：2023 年 10 月 7 日（土） 10 時より

場所：東京大学弥生講堂 会場参加(300 名)・オンライン参加(500 名) ハイブリッド開催

主催：(一社)日本農学会 後援：東京大学大学院農学生命科学研究科, (公財)農学会

■講演時間「講演 30 分・質疑(交代)5 分」

10:00~10:07 開会挨拶・趣旨説明 会長 大杉 立

10:07~10:10 講演準備

10:10~10:40 「気候変動対策と調和した新しい沿岸漁業の展開に向けて」

水産資源研究所 水産資源研究センター グループ長 堀 正和

10:40~10:45 質疑・交代

10:45~11:15 「持続可能な環境と食料安全保障を両立させる窒素利用の在り方」

人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 教授 林 健太郎

11:15~11:20 質疑・交代

11:20~11:50 「加工型畜産から環境と調和したタンパク質生産へ向けた畜産のパラダイムシフト」

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 後藤 貴文

11:50~11:55 質疑

11:55~13:00 ***** 休息 —昼食— *****

13:00~13:30 「コンクリートの都市を農地に変える技術、創製土壌」

農研機構 野菜花き研究部門 上級研究員 篠原 信

13:30~13:35 質疑・交代

13:35~14:05 「人類 100 億人時代到来～作物の細胞を改良して切り拓く未来～」

鳥取大学乾燥地研究センター 准教授 石井 孝佳

14:05~14:10 質疑・交代

14:10~14:40 「不安定な食料供給をテラーメイド米で解決！」

秋田県立大学生物資源科学部 教授 藤田 直子

14:40~14:45 質疑・交代

14:45~14:55 ***** 休息 —10 分— *****

14:55~15:25 「現場と研究の接点で生まれるイノベーションが農業の適応力を高める」

東京大学名誉教授 小林 和彦

15:25~15:30 質疑・交代

15:30~16:00 「地球温暖化時代の農業技術開発と地域課題の解決」

農研機構 農村工学研究部門 研究領域長 遠藤 和子

16:00~16:05 質疑

16:05~16:15 ***** 休息 10 分 (総合討論準備) *****

16:15~17:05 総合討論 司会 副会長 大政 謙次

17:05~ 閉会挨拶 副会長 渡部 終五